

芸能従事者 11 実態調査アンケート

ドライバーの労働時間

Arts Workers Japan

「芸術・芸能分野のドライバー2024年問題に関するアンケート」

調査期間：2023年6月26日～12月5日

調査対象：フリーランス芸能従事者

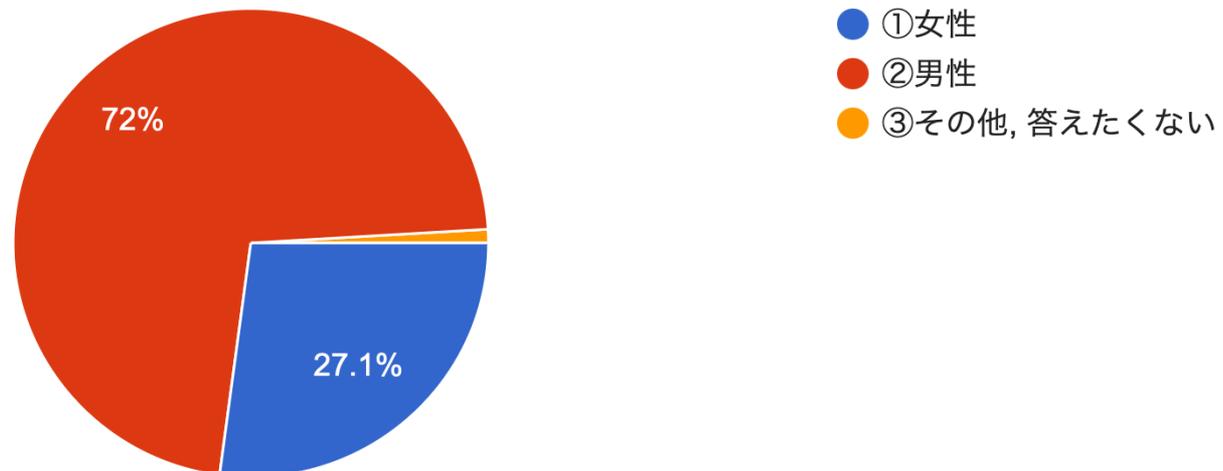
回答数：107回答

調査方法：インターネット

調査主体：一般社団法人日本芸能従事者協会

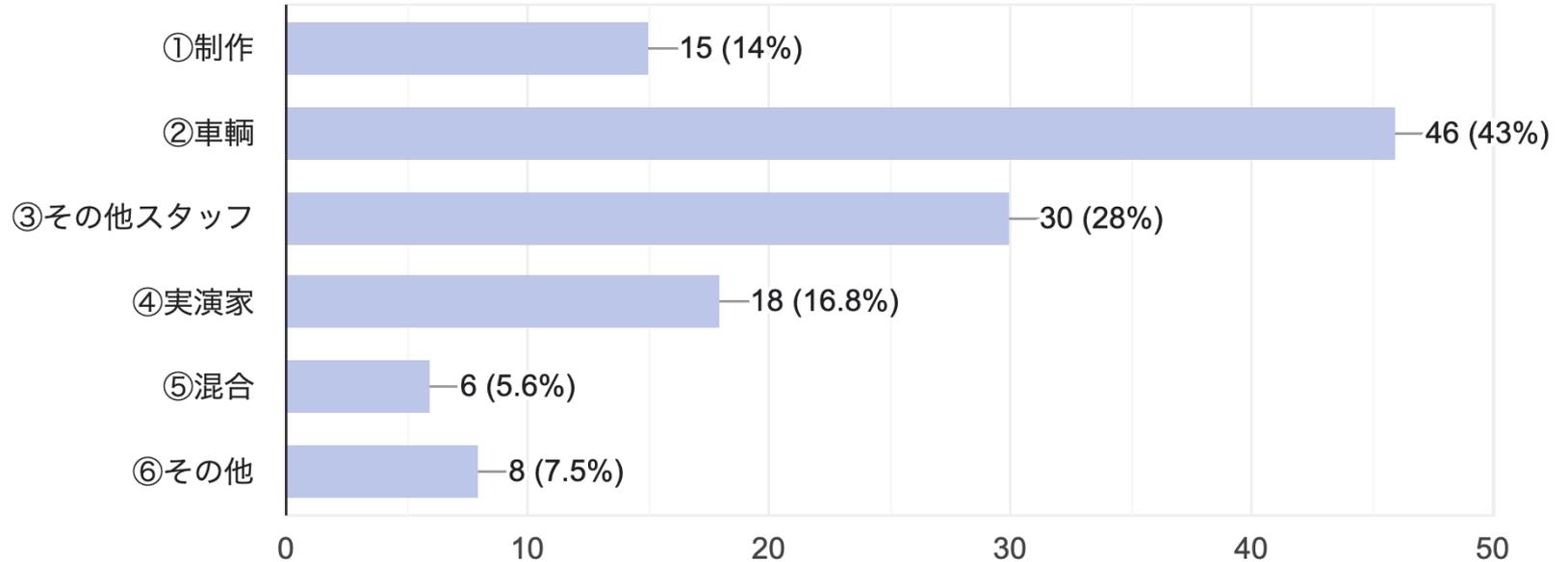
Q 1. 性別を教えてください

107 件の回答



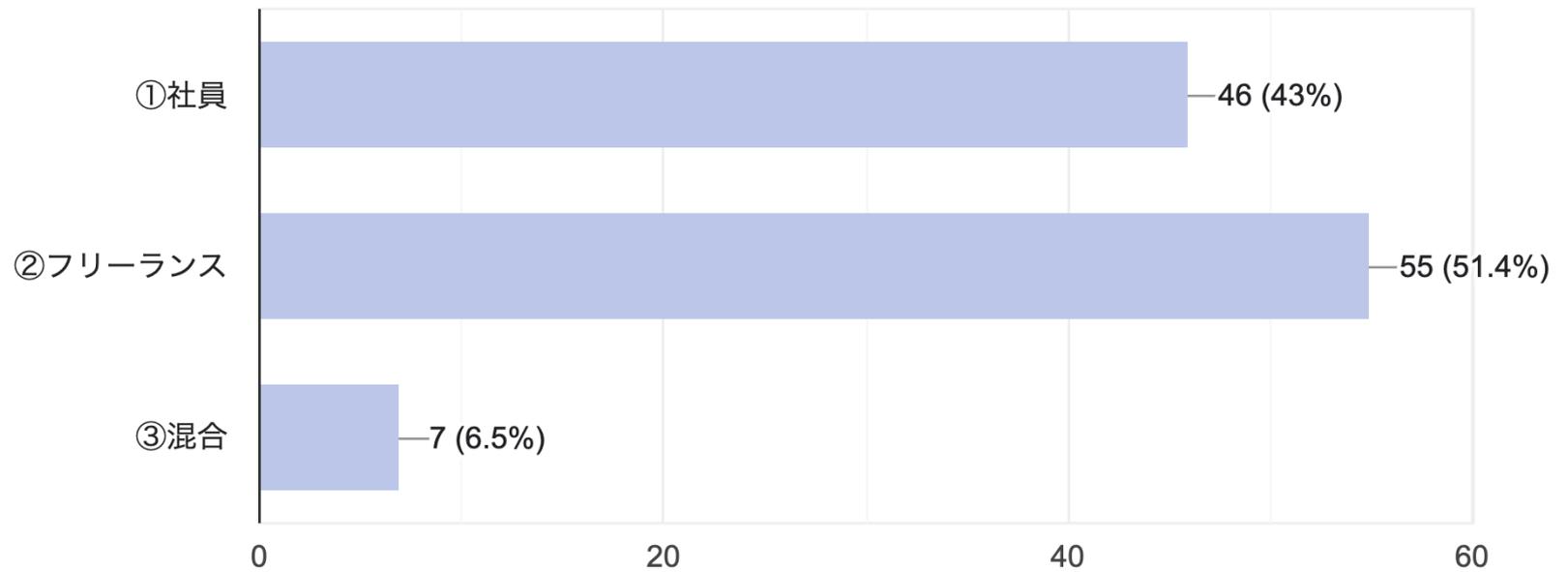
Q 1-2. 職種を教えてください(複数回答可)

107 件の回答



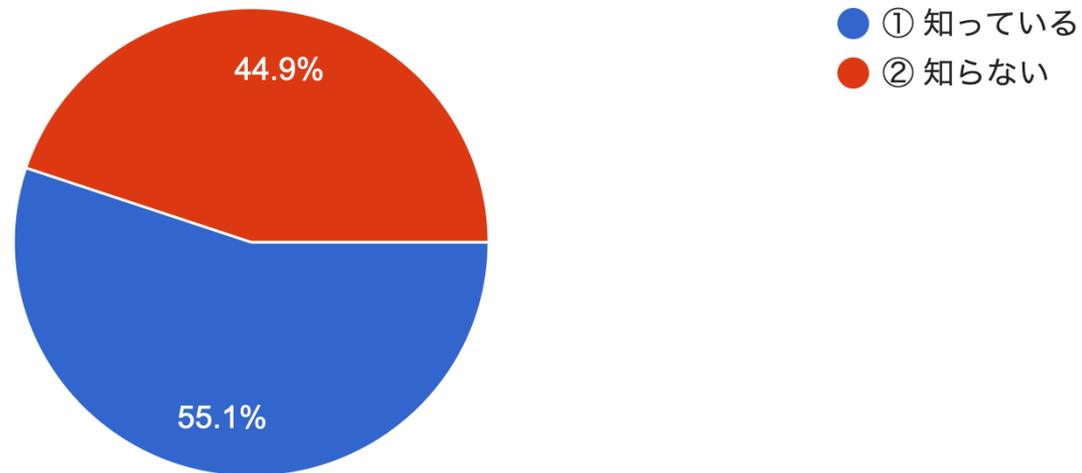
Q 2.就業形態は？

107 件の回答



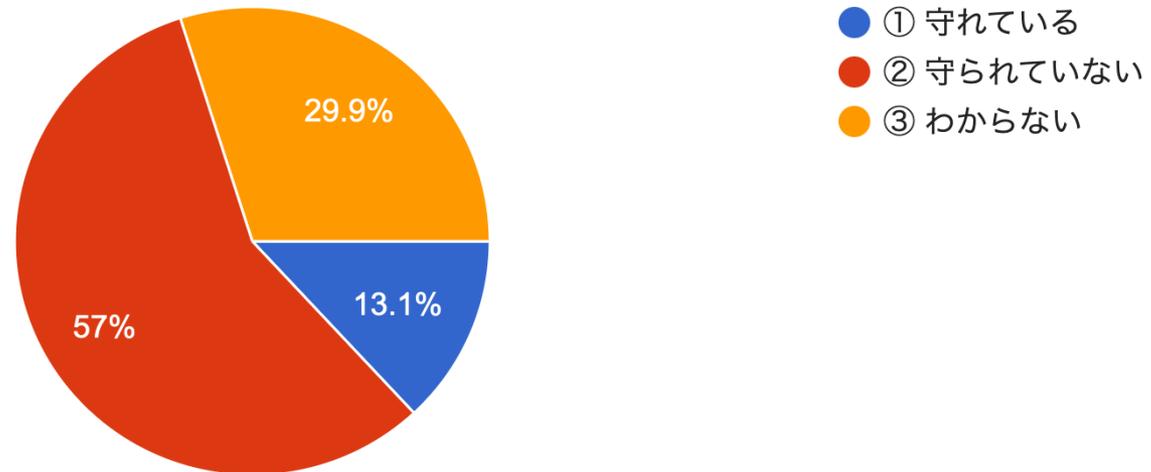
Q 3. 2024年にドライバー運転時間規制が始まるのをご存知ですか

107 件の回答

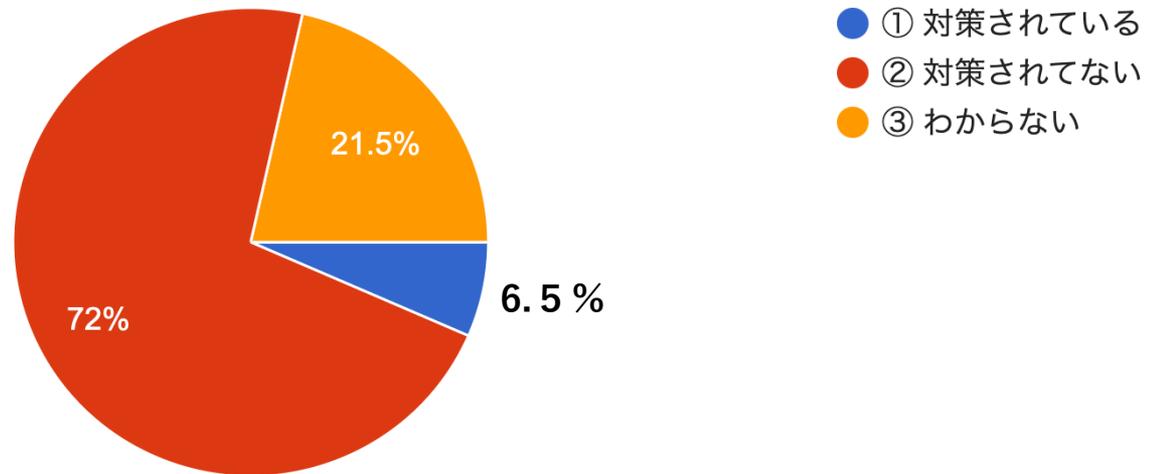


Q 4. 現状ドライバーの労働時間と休憩時間は守られていると思いますか

107 件の回答

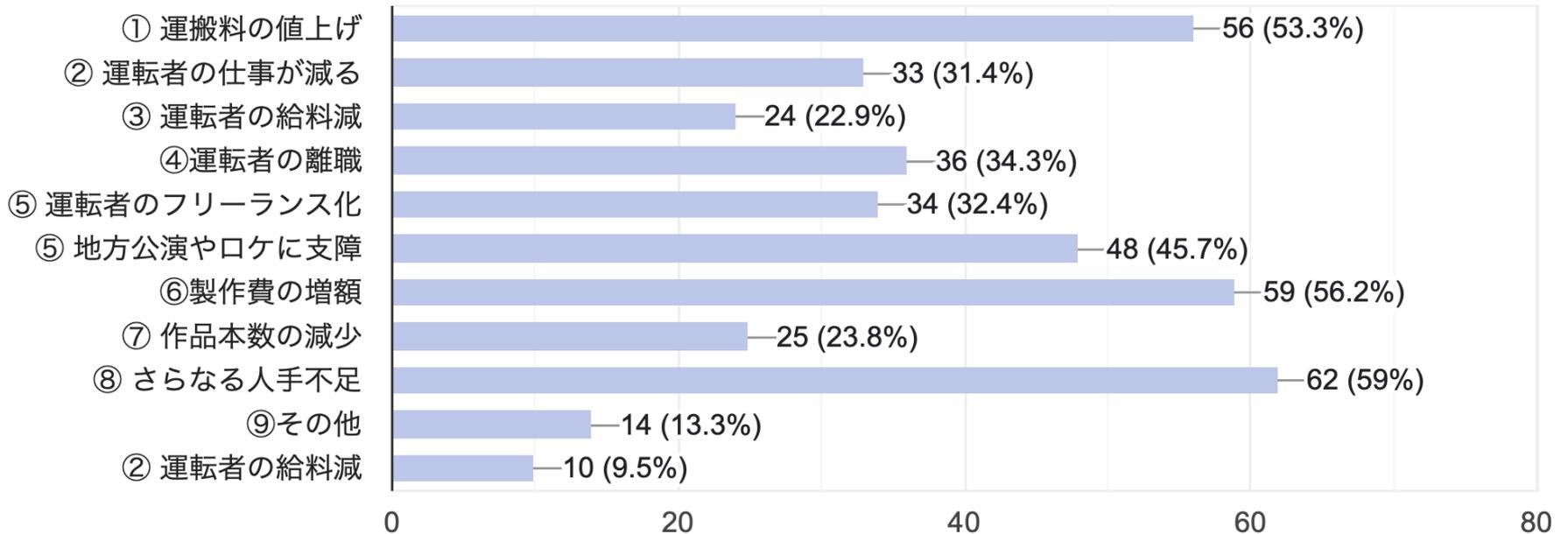


Q5. 芸術・芸能業界でこの対策はされていると思いますか
107件の回答



Q6. どのような影響が考えられますか

105件の回答



Q 7. これからどのような対策が必要だと思いますか（57件の回答 1/2）

1. この制度によって増減する制作費を国が支援する政策。
2. 送料の値上げ、送料無料の規制？まだよく知らないので分からない状態
3. 組合などの組織を作る
4. フリーランス日数限定で仕事を受けているので、そもそも対策に入っていないと思います。車両部は拘束時間が一番長いけど、現状ではそこを基準には出来ないと思います。
5. 実施に間に合う（撤収に間に合う）なら休憩は運転手に任せるべき
6. 車両1台につき、複数人の抑えが必要となり、その分の人材の確保及び制作費の増額が必要となる。
7. 公共交通機関の有効利用撮影時間の規定
8. ドライバーの人件費を上げ、離職者をへらし、勤務時間を減らす
9. 組合を作ること。契約のあり方、フィーの最低ライン、就業時間の上限や次の仕事までの間隔など、守るべきことを遵守するように取り決めを作る。問題なく一定期間営業したドライバーに優良認定をするなど、優秀な人材には高いギャラ設定がされる仕組みを作る。
10. 特に地方公演の被りの見直し。運送会社の地方への協力要請
11. これを気に ゆとりある運搬計画
12. 残業時間の規制で減るであろう収入をいくらかでもカバーできる手立てがないと仕事をしていく上でモチベーションに支障すると思う。顧客の法令遵守に対する意識が他業種に比べて圧倒的に低いと感じるので彼らを巻き込んで対策しないと実行的なものにならないとおもう。
13. 運送は社会のインフラとして認知し、社会のために税金を使って安全の整備をする
14. 給料の増
15. 現場や製作元等、車両に関係ない人々の理解も必要
16. イギリスのようにインディペンデント製作者への支援金や、弱小製作会社専用の為の助成金を作って法改正による予算圧迫対策をしてほしい
17. 製作費の増加
18. 給料UPしかないと思います。
19. 労働時間制限と給与の見直し
20. 余裕を持ったスケジュールの作成
21. 給料が下がらないように賃上げ。待機時間を考慮した労働時間にしてもらう。
22. わからない
23. ロケの時間を迎えから解散までの時間を考慮したロケ時間にしてもらいたい。時間が長い場合は交代などにかかる費用も理解してもらい請求出来れば対応できる。旅客緑ナンバーの車両の運転手が、人員不足時に自社社員以外でも運転できるようになると対応できるかも。
24. 運搬料の値上げ⇒運転者の給料増⇒人員確保
25. 業界全体での労働環境、時間の改善 ドライバーが雇えず、制作部が運転しないといけなくなり、他のスタッフに負担がかかりそうなのが心配 ドライバーの交代制一費を撮影費に含めて考えてくれと言われるとただでさえ

Q7. これからどのような対策が必要だと思いますか（57件の回答 2/2）

1. 元請け、プロデューサーらが、働き方改革はコストと直結するという認識と、それが守られない現場はそもそもコンプライアンス違反なのだという認識を持ち、自社社員を含め全てのスタッフに対し改善するとの意思を示すべき。まずは、現場の安全衛生責任者であるべきプロデューサー職に、その知識も研鑽も全くない事にまずは自ら気づく事から始めるのが良いと思われる。
2. 給料アップ
3. 車両台数に制限。他交通手段を利用。スケジュールのスリム化
4. 白ナンバーの廃止運動
5. 荷主・発注元への法令の周知
6. プロダクション（荷主）等の法令遵守〔撮影時間の短縮・休日の確保〕。交代要員配置のための運賃の値上げ。
7. 勤務間インターバル制度。無茶なスケジュールに対して処罰公表。労働基準監査所によるスケジュールの監査。スケジューラーの資格制度。
8. 運転者の給料増
9. 製作側で、労働基準法にそったスケジュールを作成お願いします。
10. ロケの場合だとドライバーのこのことのみではなく全体の撮影（労働）時間も含めて考慮するべきと思います。
11. ガソリン代を下げる事と高速代を値下げする事！
12. 発注元であるテレビ局がこの問題解決のための予算を上乗せする
13. 音響/照明/映像/大道具会社やフリーランスで、公演に関わる作業員とドライバーは、明確に人を分けなければならないと常々感じている。
14. 発注者の理解
15. 現場の安全衛生に関わる予算をきちんと確保できるようリテラシーの向上、及び助成金の充実
16. 発注者の理解を緊急に。一日ずつ運搬日数を増やさないと無理。
17. 技術パートをしつつ運転するスタッフも守られているか。プロデューサーへの研修。
18. ドラマ、映画の車輛部は、所謂長距離バスや宅急便のドライバーとは全く業態が違う事の認識を持つ事。
19. さらなる入念な準備と予備日の確保
20. 国からの支援
21. 賃金の増加、労働環境の向上により働き手を増加させること、仕事を発注する側が時間に余裕を持ち無理な要求をしないこと
22. 他の物流との基準の変更、渋滞や災害など不測の事態の場合の例外規定など
23. 運転手が安全に効率よく働ける環境
24. 運搬も含め、韓国等先進的なアジア諸国に負けない芸術分野への助成金の拡充
25. 一番きつく寝てない制作部が運転するのは怖い。車両費、ドライバー費を撮影費に含めて考えてくれと言われるとただでさえ

（同じ内容の回答は割愛しております。個人が特定される記述は改編しております）

Q 8. 運搬や積み下ろしで事故や怪我があったら可能な範囲でお書き下さい
 32 件の回答 (1 / 2)

1. 運搬中に大きなハードケースの取っ手が壊れ、骨折する事故を見たことがあります。
2. 構造的なことよりも作業上な事だが、荷下ろしの時にガードレールを外さないと入らない場所があり、外したガードレールを壁に立てかけていたら、それが倒れて危うく人に当たりそうになった
3. 運転中の不注意での事後があったことはある。
4. 撮影中の睡眠不足によるスタッフの運転事故
5. パワーゲートに足を挟まれる、しっかり固定されずに高積みされた荷物をパワーゲートに載せようとしたときに頭上に荷物が落下
6. パネル抑えなどの役目をしていて 荷重に耐えられず危ない時があった (荷台の中)
7. 大雪でも配達はとまらないので、積み下ろしやお客さんの玄関前に行くのが非常にこんなんでした
8. ゲートの踏み外し、落下による怪我。未梱包や梱包の甘い荷物の落下による怪我。
9. パワーゲートによる指切断
10. 制作部の寝ずの運転も問題として取り上げて欲しいです。睡眠をとる事が出来ないまま現場へ自分で運転していくのが制作部の実情です。広島まで1人運転もあります。休息を取れないまま運転するため、まともな判断ができなくなりガードレールに接触などの事故が多々見受けられます。
11. 追突され、むち打ち症になった。
12. 制作車はいつも睡眠時間の少ない制作部が運転してるので車がボコボコのことが多い
13. かつて4t平トラ(各部機材の混載車両で、積み下ろし時にドライバーが荷台から転落、頭部を打ち救急車を呼んだことがあった。近くで撮影は続行され、照明部が事故現場を俳優に見せないようフラッグで目隠ししてくれたことを、さも美談かのようにプロデューサーが後に語り、責任の自覚が皆無なのだと憤慨した事がある。
14. 人命優先。代車手配。保護待機。
15. ぎっくり腰
16. トラックパワーゲート作動中に、足のケガ・指のケガ
17. 舞台監督が声をかけずにトラックのゲートを下げて、積み込みをしていた演出部が落ちて後頭部を強打し、病院に運ばれた。舞台監督曰く、俺は悪くない。
18. 制作部は寝ずに運転するため、備品等の運搬や送迎時に物損事故が必ず起きる。1 作品中2回 (物損と高速道路での走行中前の車からの落下物に衝突)
19. 機材にぶつかるなど
20. 1日の中で運搬/仕込/RH/本番が終わって撤収してそのまま移動は、他県や遠い県内の場所へ行くのは過酷すぎて、帰りの運転中に居眠りをしそうになり、たまらず高速のパーキングエリアにて小休憩。事故にはならなかったが危なかった。請負仕事のタイムスケジュールなど内容が後日知らされるのが原因。
21. 撮影車の撮影中の事故。クランクイン前のスタッフの運転による交通事故で首のむちうち。映画の撮影中、ずっとギブスをされていて気の毒だった。
22. 車両部を準備できない現場でスタッフが寝不足で運転し事故を起こした。死者も出ている。
23. いくらでもある。長時間労働の後に制作部の運搬は当然危険。プロデューサーが役者を運ぶのも安全配慮に万全を期しているのか疑問宅中、電柱に衝突して廃車になった。人に怪我はなかった

Q 8. 運搬や積み下ろしで事故や怪我があったら可能な範囲でお書き下さい
32 件の回答 (2 / 2)

1. 慣れない運搬作業により身体を痛めることもある。(筋肉痛も含めて)
2. 17年間、私が関わった現場では一度もありません。ドラマ、映画では少ないと思います。
3. 同じ劇団の人が手伝いをして骨折
4. 運搬物の落下
5. 制作部が制作ハイエースで運転して帰宅中、電柱に衝突して廃車になった。人に怪我はなかった

(同じ内容の回答は割愛しております。個人が特定される記述は改編しております)

この調査データをご利用をご希望の方は
事前にホームページのお問合せからご連絡をお願いいたします。
<https://artsworkers.jp/contact/>
また記載される場合、調査主体名とタイトルをご明記ください。



Arts Workers Japan

一般社団法人日本芸能従事者協会

芸術・芸能の仕事に従事するすべての方と、日本の文化の発展をともに考え、
実現していくための協会です。

理事長 森崎めぐみ
設立日 令和3年9月16日
所在地 東京都東京都港区北青山3-6-7-11F
ホームページ <https://artsworkers.jp>